

阿波市
議会だより
第56号

年4回発行 [令和2年9月1日]

発行／阿波市議会 編集／議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

代表質問

榎原 賢二 議員
(阿波みらい)



問 新型コロナウイルスに係る小中学校の授業時数遅れや市立の認定こども園、幼保、小中学校の給食の状況並びに本市独自の給付金について。

答 授業時数の遅れについては、コロナウイルス感染防止策を講じ、保護者の理解を得ながら夏休み中も授業を実施する。市立4認定こども園、1幼保の給食については、給食センターの休業中は自園で対応し、現在は小中学校を含め通常の給食センターや自園での提供にもどっている。独自の給付金として、あわっ子応援特別給付金、ひとり親家庭等応援特別給付金、妊婦臨時特別給付金、がんばる企業応援給付金、農業者応援給付金を設けている。

問 農業立市阿波市の現在までの取り組みと今後の取り組みと対策について。

答 平成24年から農業次世代人材投資資金事業を進めており、

阿波市議会臨時会の概要

令和2年第1回

第1回臨時会が5月8日に開かれ、市長提出議案の一般会計補正予算、専決処分、人事案件について概要と提案理由の説明があり、いずれも可決・承認・同意されました。

阿波市議会定例会の概要

第2回定例会は、6月8日から6月30日までの23日間の会期で開かれました。開会日には表彰状の伝達があり、四国市議会議長会から出口治男議員、森本節弘議員が表彰されました。続いて藤井市長から、新型コロナウイルス感染症対策、阿波市阿波地域交流センター及びあわむすびの落成式、阿波子育て支援センターあおぞらの開所、阿波市消費者協会設立総会等についての行政報告がありました。また、令和2年度一般会計補正予算、条例の一部改正などの議案について概要と提案理由の説明がありました。代表・一般質問は6月17日から18日の2日間にわたり行われ、11人が市政全般について理事者の考えを問い、感染症対策、子育て支援・教育・福祉・防災・建設・産業関係、財政等について議論しました。23日に総務、24日に文教厚生、25日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも可決しました。追加議案として、人事案件8件、委員会発議の意見書1件が提出され同意・可決しました。

令和2年第2回

阿波市議会臨時会の概要

第2回臨時会が7月16日に開かれ、市長提出議案の一般会計補正予算について概要と提案理由の説明があり、可決されました。

問 新型コロナウイルス被害に関連した中小企業融資における市の必要書類等の対応時間は、書類に不備がなければ、当日、遅くとも翌日には認定書を渡している。今後も事務の効率化に努め、しつかり支援できるように心がける。

答 市民の皆様や、議員各位の協力で様々な事業が実施できたと考えている。現在置かれている各施策に、全力を傾注する状況であるのでご理解いただきたい。

藤本 功男 議員
(はばたき)



問 阿波市の新型コロナウイルス対策本部は、どのような経過で設置し運営してきたのか。

答 阿波市新型コロナウイルス対策本部は、どのような経過で設置し運営してきたのか。

問 新型コロナウイルス被害に、自宅での料理の機会が増えている。選択肢を増やすためにも新しい返礼品の登録、推進活動はどのようにしているのか。

答 新しく追加されたのは3品目であり、本年度も高等学校と連携した返礼品を検討している。今後も、返礼品の開発や事業所の開拓など推進していく。

問 全国では納税額が数億円単位の自治体もある。阿波市らしく、阿波市だからこそ選んでもらえる返礼品の開発を進めてほしい。

答 阿波市長選について、藤井市政となり3年3か月の月日が流れ、阿波市の未来のまちづくりに尽力されているが、市長選

についてはどう考えているのか。

答 市民の皆様や、議員各位の協力で様々な事業が実施できたと考えている。現在置かれている各施策に、全力を傾注する状況であるのでご理解いただきたい。

問 阿波市の新型コロナウイルス対策本部は、どのような経過で設置し運営してきたのか。

答 阿波市新型コロナウイルス対策本部は、どのような経過で設置し運営してきたのか。

問 新型コロナウイルス被害に、自宅での料理の機会が増えている。選択肢を増やすためにも新しい返礼品の登録、推進活動はどのようにしているのか。

答 新しく追加されたのは3品目であり、本年度も高等学校と連携した返礼品を検討している。今後も、返礼品の開発や事業所の開拓など推進していく。

問 全国では納税額が数億円単位の自治体もある。阿波市らしく、阿波市だからこそ選んでもらえる返礼品の開発を進めてほしい。

答 阿波市長選について、藤井市政となり3年3か月の月日が流れ、阿波市の未来のまちづくりに尽力されているが、市長選

活動の着実な回復に取り組んでいく。

問 新型コロナウイルス感染症防止による長期休業の影響は、授業態度や学習意欲など、休業前と変わらない。しかし、小学一年生の学習習慣の定着や全体の肥満度に課題がある。

答 授業態度や学習意欲など、休業前と変わらない。しかし、小学一年生の学習習慣の定着や全体の肥満度に課題がある。

問 夏休みを使つての授業時数の確保。個別支援や、家庭や関係機関との連携を強める。

答 個別支援や、家庭や関係機関との連携を強める。

問 パソコン一人一台やオンライン学習などに対応する新しい学びをどう推進していくのか。

答 パソコン一人一台やオンライン学習などに対応する新しい学びをどう推進していくのか。

問 高速大容量の校内通信ネットワークの整備、校内研修の充実。支援員によるサポート体制を強化する。

答 支援員によるサポート体制を強化する。

江澤 信明 議員
(阿波清風会)



問 新型コロナウイルス感染症対策に係る予算の一般財源及び基金の取り崩しについて。

答 新型コロナウイルス感染症対策に係る予算の一般財源及び基金の取り崩しについて。

問 感染拡大による地域経済や市民生活などへの影響は甚大であり、全ての財源を国の交付金で賄うことは難しいと考えている。必要な財源は基金や一般財源で対応することになるのか。

答 必要な財源は基金や一般財源で対応することになるのか。

問 基金残高に十分留意しながら堅実な財政運営に努めたい。

答 基金残高に十分留意しながら堅実な財政運営に努めたい。

問 国・県においては法律等の改正が行われ、感染拡大の防止や社会経済活動の両立に向けた補正予算が計上されている。本市においても条例等の改正や市独自の事業を補正予算に計上しており、生活の支援、中小企業・農業者への支援、感染防止を3本の柱にして対策を行っている。

答 国・県においては法律等の改正が行われ、感染拡大の防止や社会経済活動の両立に向けた補正予算が計上されている。本市においても条例等の改正や市独自の事業を補正予算に計上しており、生活の支援、中小企業・農業者への支援、感染防止を3本の柱にして対策を行っている。

笠井 安之 議員
(はばたき)



問 新型コロナウイルス感染症が、どのような形で阿波市の産業に影響が出ているのか。

答 新型コロナウイルス感染症が、どのような形で阿波市の産業に影響が出ているのか。

問 外食産業の売り上げや個人消費の低迷、また旅行者の減少やイベントの中止などによる機会損失、休業等による発注中止など、あらゆる分野に影響を及ぼしている。

答 外食産業の売り上げや個人消費の低迷、また旅行者の減少やイベントの中止などによる機会損失、休業等による発注中止など、あらゆる分野に影響を及ぼしている。

問 阿波市内の産業への新型コロナウイルス被害に伴う支援要請件数は、どの程度あるのか。

答 阿波市内の産業への新型コロナウイルス被害に伴う支援要請件数は、どの程度あるのか。

後藤 修 議員
(はばたき)



問 公共交通について、障がい者、要介護・要支援者の同伴は、運賃を半額にできないか。また、手荷物の持ち込みの制限を状況により緩和できないか。

答 公共交通について、障がい者、要介護・要支援者の同伴は、運賃を半額にできないか。また、手荷物の持ち込みの制限を状況により緩和できないか。

問 公共交通の新型コロナウイルス対策について。

答 公共交通の新型コロナウイルス対策について。

問 感染拡大を防止するためエアコンを用いて外気を導入することや、乗客の降車後に、窓を開けて車内換気に努めるよう要請を受けている。

答 感染拡大を防止するためエアコンを用いて外気を導入することや、乗客の降車後に、窓を開けて車内換気に努めるよう要請を受けている。

問 防災対策について、木造住宅耐震診断の実績、評価1・0未満の改修実績と補助事業の促進について。

答 防災対策について、木造住宅耐震診断の実績、評価1・0未満の改修実績と補助事業の促進について。

問 現在、932件の耐震診断実績があり、令和元年度の改修実績は、耐震改修支援事業16件、安全・安心リフォーム支援事業2件、住替え支援事業7件となっている。補助事業の促進は、市役所の相談窓口やホームページ

ことによる空調管理の徹底を行い、水分補給の時間を設定するなど、子どもの体調に気を配りながら適切な対応をとっていく。

問 働き方改革について、公的機関のICT化をどのように考えているか。

答 働き方改革について、公的機関のICT化をどのように考えているか。

本市では、情報システムのクラウド化を行っており、県主催のウェブ会議などにも市役所から参加できるようにしている。テレワークなども含め、今後、行政運営の効率化を図る上で最適な方法を検討していく。

問 移住・定住を希望する子育て世帯に対する固定資産税等の優遇措置や土地の分譲について。

答 移住・定住を希望する子育て世帯に対する固定資産税等の優遇措置や土地の分譲について。

全国のの方に高い評価をいただける阿波市ブランドを創出するため、産官学の取り組みを強化し、魅力ある特産品の開発を行いたい。

阿波市ブランド品開発について産官学と連携し、新しいブランド品開発に取り組んでほしい。

阿波市ブランド品開発について産官学と連携し、新しいブランド品開発に取り組んでほしい。

阿波市ブランド品開発について産官学と連携し、新しいブランド品開発に取り組んでほしい。

阿波市ブランド品開発について産官学と連携し、新しいブランド品開発に取り組んでほしい。

阿波市ブランド品開発について産官学と連携し、新しいブランド品開発に取り組んでほしい。

阿波市ブランド品開発について産官学と連携し、新しいブランド品開発に取り組んでほしい。

ジ、広報阿波、ケーブルテレビによる周知やイベント開催時にも行っている。

川人 敏男 議員

(阿波みらい)



問 新しいごみ処理施設の稼働に向けて、5年足らずと切迫してきた。周辺住民への説明会、建設候補地の選定、施設の建設など複雑多岐な業務が横たわる。個々のスケジュールを問う。
答 課題等を整理し、進行管理表を今年度内に提出する。
問 固形燃料の受け入れ先の企業、自治体の了承を得ているが、県内の民間企業を念頭に検討中。早期に打診を行いたい。
問 世界で脱炭素の動きが加速している。固形燃料は石炭と混ぜて使うが、ごみ処理施設が稼働する限り企業が引き受けてくれるか。

答 コンサルタント会社の調査によると、固形燃料として受け入れ可能と報告を受けている。
問 固形燃料の売却先の企業・自治体の環境アセスメントを行うか。

答 必要ないと考えている。
問 本市のトップは、行動力と対話の積み重ねによる愚直な努力を怠っている。意思決定の手順も、本市で発表後に組合議会で承認とチグハグ。政策決定に十分な研究、検討を怠ったため問題点が煮詰まらない。

答 燃料化方式は、昨年12月の組合議会で承認を得た。内容的には、環境保全性、安全性、経済性の観点から最善の処理方式と考えている。

北上 正弘 議員

(公明党)



問 障害者手帳等の更新に必要な診断書の取得費の助成を検討している。

答 障害者手帳保持者数は、2,500人を超えている。助成金制度の内容等について、調査研究していきたい。

問 災害に備える準備について、太陽光と風力発電を兼用している防犯灯の設置を検討しては。各指定避難所の防犯灯の設置状況を踏まえながら十分検討したい。

問 避難所の3密をどう防ぐか。コロナウィルス感染拡大が懸念される中、避難所の3密を防ぐためにパーティションを利用しスペースの確保、更衣室や簡易トイレ室にも対応する。計画的に購入を進める。

問 阿波市所有の公園や、人が集まりやすい場所、土柱等に防犯カメラを設置しては。
答 防犯カメラの設置については、地域の見守り、犯罪行為の抑止を図る効果がある。関係機関の協力をいただき計画的に事業を検討していく。市民の安全・安心なまちづくりを確保し防犯体制の充実強化を図り、犯罪の未然防止に全力で努めていきたい。

中野 厚志 議員

(日本共産党)



問 コロナの影響の中、生活困窮者に対する支援について。
答 生活等に課題を抱える方を支援する制度として、生活困窮者自立相談事業がある。市社会福祉協議会に委託しており、令和2年4、5月の相談件数は54件、うちコロナ関係は53件。生活福祉資金の利用状況は、緊急小口資金が41件、総合支援資金が12件であった。

問 市の保育料の軽減・無償化の実績について。
答 保育料を決める算定基準の所得階層は国が8階層であるが、市は10階層と細やかに設定し、平均の世帯の保育料は4割の軽減となっている。さらに国のひとり親世帯等の軽減措置に加え、上乗せ軽減や第3子以降の無償化も実施している。

問 ごみのポイ捨て等に対する

問 今年度の取り組みについて。

答 ボランティア団体等と共に国道沿いや吉野川を始め、善入寺島や各河川での清掃活動をしている。毎年11月には4町を順番に、投棄の多い箇所での集団清掃もしており、今年度は阿波町で行う予定。毎月、環境衛生課職員によるパトロールでの監視や地域で活動している道路作業員等の協力で投棄ごみの早期発見を進めている。

問 コロナの影響により、収入が減少した被保険者等に係る、国民健康保険税の減免に対する財政支援について。
答 減免の要件は、コロナウィルス感染症により主たる生計維持者が死亡、または重篤な傷病を負った世帯、もしくは感染症の影響により主たる生計維持者の事業収入、給与収入等の減少が前年の当該事業収入等の額の十分の三以上になると見込まれる場合となっており、対象は令和元年度・2年度分の国保税となっている。

坂東 重夫 議員

(はばたき)



問 公共施設のマネジメントの現状と今後の取り組みについて。
答 平成29年度に、阿波市公共施設個別管理計画を策定し、公共施設の老朽化への対応や人口減少及び高齢化による需要の変化等に対応するため、計画の対象となった264の施設にマネジメント事業として、施設の除却、統廃合、地元等への譲渡、利活用と将来的な方向性の振り分けを行い、本年5月末現在249の施設となっている。今後、利用率や運営コスト、老朽度を精査し、有効な補助金等を活用しながら公共施設の運営管理に努めていく。

問 市民のための職員の人材育成について。
答 個々の職員が能力を十分発揮できるよう、積極的な人材育成を図り、市民サービスの向上につなげていく。

問 徳島自動車道4車線化事業

における事業スケジュールと騒音測定、防音壁設置について市の考えは。

答 現在、事業スケジュールは未定であるが、騒音測定については、本年度に調査を実施し、国の環境基準を超えている場合は、本市が西日本高速道路株式会社に防音壁設置などを要望する。今後も沿線市民の皆様のご意見をいただきながら、全線4車線化の早期実現を目指し取り組んでいく。

問 救急車両の増車による救急業務の充実強化について。
答 本市の救急搬送業務については、吉野川市との広域行政により徳島中央広域連合消防本部で行っており、救急車は3台保有しているが、消防庁の配置基準を下回る状況にある。また令和元年の管内人口は、5年前の平成27年と比較すると4,191人減少しているが、救急出動件数は203件増加している。救急業務の確保は、市民の皆様

の生命・身体を守り、欠かすことのできない最優先課題であるので、徳島中央広域連合消防本部や吉野川市と早急に協議し、実施に向けて取り組んでいく。

笠井 一司 議員

(志政クラブ)



問 市長は、徳島自動車道4車線化の促進に取り組んできているが、どのような成果が上がったか。また、スマートICの整備計画は。
答 徳島道の4車線化については、阿波パーキング付近で現在工事が進められている。また、本年3月には、土成ICから脇町IC間、全線の4車線化が進められることが決まった。阿波スマートICの整備については、本市において現地測量業務に着手しており、その進捗により、今後、道路設計を西日本高速道路株式会社が行い、土質調査を本市が行う。

問 阿波市地域公共交通について。昨年度の運行実績や決算状況、また、2年目に向けて、どのような改善を行っていくのか。

答 デマンド型乗合交通には、1,356人が登録し、利用者は徐々に増えている。年間の利用は、一日平均29・4人であり、そのうち70歳以上の方が約87・5%を占めている。決算は、歳出で約2,192万円となった。今後は、利用者の要望に応えつつ、持続可能な地域公共交通となるよう制度構築を図りたい。

問 市内の小・中学校の校舎等の中には、建築後相当の年数が経過し、改修が必要なものが見受けられるが、今後の改修計画は。特に、土成小学校校舎については、雨漏りなど、修繕が必要箇所が多く見受けられる。早急な改修をお願いしたい。

答 市内の小学校10校、中学校4校については、御所小学校以外は築35年から50年が経過している。平成30年度から大規模改修を行っているが、今年度、施設の予防保全を目指す「阿波市学校施設長寿命化計画」を策定し、計画的に改修をしていく。土成小学校の大規模改修については、令和3年度に行う予定である。

活動状況報告

●委員会等の開催状況（5月～8月）

令和2年			
5月1日	議会運営委員会	6月24日	文教厚生常任委員会
8日	第1回阿波市議会臨時会本会議 全員協議会	25日	産業建設常任委員会
19日	議会広報特別委員会	30日	観光開発特別委員会
6月1日	議会運営委員会 全員協議会		議会運営委員会
8日	第2回阿波市議会定例会本会議（開会）	7月13日	第2回阿波市議会定例会本会議（閉会）
17日	第2回阿波市議会定例会本会議（代表・一般質問）	16日	全員協議会
18日	第2回阿波市議会定例会本会議（一般質問）	8月6日	第2回阿波市議会臨時会本会議
23日	総務常任委員会	24日	議会広報特別委員会
		31日	議会運営委員会
			第3回阿波市議会定例会本会議（開会）

令和2年第3回定例会は8月31日（月）に開会しています。
詳しい日程は、議会事務局議事総務課（0883-36-8750）までお問い合わせください。

議会だより 編集雑感

コロナウィルス同様、過去最大級の梅雨前線により全国各地で水害等、生命の危機に直面しています。自分と周りの人の命を守る自助・共助の強化が求められます。我ら議員は、市政運営に目を配り公助の強化に努めなければならないと思います。

阿波市として今すべきことが山積していますが、内容を見れば後回しできる案件はありません。安全・安心なまちを作る、必要とされる我々でありたいと思います。

(北上正弘)

令和2年第1回阿波市議会臨時会 議案番号及び議決結果一覧表（5月8日）

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第39号	令和2年度阿波市一般会計補正予算（第1号）について	原案可決
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度阿波市一般会計補正予算（第8号）について）	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について）	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度阿波市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について）	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について）	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度阿波市介護保険特別会計補正予算（第3号）について）	承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（阿波市税条例等の一部改正について）	承認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて（阿波市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて（阿波市介護保険条例の一部改正について）	承認
議案第40号	固定資産評価員の選任について	同意

令和2年第2回阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表（6月8日～6月30日）

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第41号	令和2年度阿波市一般会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第43号	令和2年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第44号	阿波市税条例の一部改正について	原案可決
議案第45号	阿波市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第46号	阿波市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第47号	阿波市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第50号	阿波市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第52号	大俣公民館改築工事請負契約の締結について	原案可決
議案第42号	令和2年度阿波市一般会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第48号	阿波市老人ルーム条例の一部改正について	原案可決
議案第49号	阿波市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第51号	阿波市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第53号	徳島中央広域連合規約の変更について	原案可決
報告第2号	令和元年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第3号	令和元年度阿波市水道事業会計予算繰越計算書について	—
請願第1号	徳島県主要農作物種子条例制定を求める請願	採 択
議案第54号	令和2年度阿波市一般会計補正予算（第4号）について	原案可決
議案第55号	教育委員会教育長の任命について	同意
議案第56号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第57号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第58号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第59号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第60号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第61号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第62号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
発案第2号	徳島県主要農作物種子条例制定を求める意見書について	原案可決

令和2年第2回阿波市議会臨時会 議案番号及び議決結果一覧表（7月16日）

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第63号	令和2年度阿波市一般会計補正予算（第5号）について	原案可決